

土屋恵一郎学長(左)と明治大学名誉博士アントニオ・グテーレス国連事務総長

UN Photo /Eskinder Dabete

明治大学は 世界の課題に挑戦します。

アントニオ・グテーレス国連事務総長を表敬訪問

明治大学は、2014年11月に当時国連難民高等弁務官であったアントニオ・グテーレス氏の社会的実績や世界平和に向けた人道的課題解決への多大なる貢献を高く評価し、名誉博士号を贈呈しました。このような関係から、土屋学長らは、昨年5月、同氏の国連事務総長就任に際し、表敬訪問をしました。改めて世界平和への貢献に向けた期待を伝えた後、本学が実施する難民を対象とした入学試験の現状や国連UNHCR難民映画祭をはじめ難民問題をテーマに行う本学の取り組み、国連機関との連携について報告を行い、これらに対する助言をいただきました。

国連アカデミック・インパクトに参加

明治大学は、世界各国の高等教育機関同士の連携や教育機関と国連との連携を促すこと等を目的とした国連アカデミック・インパクトに2010年から参加しています。取り組む原則は、本学の建学の精神と使命に通ずる、原則3(性別、人種、宗教、民族を問わず、全ての人に教育の機会を提供する)、原則7(平和、紛争解決を促す)および原則10(異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く)です。明治大学はこれからも世界の課題に挑戦していきます。



国際社会への貢献と世界平和の実現に向けて

明治大学は、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 及び国連UNHCR協会との協定に基づき、難民を対象とした入学試験を実施しています。2011年度から現在まで13名の難民を学部学生として受け入れており、卒業生は各方面で活躍しています。高等教育の機会を提供することにより、当該学生が高い教養と専門性を身につけ、国際社会において平和の構築や社会の発展に寄与することを目的としています。



持続可能な社会の実現を目指して

持続可能な社会とは何か。なぜ実現する必要があるのか。2015年に国連で採択された持続可能な17の開発目標「SDGs」の達成に向けて、明治大学ではSDGsの視点から大学が果たせる役割を模索しています。学問の力によって、人類を前進させることができるのか、人類を前進させる技術を前へ押し進めるためには何が 필요한のか。大学として常に問い続けていきます。



CLMV※の都市社会を支える人材を養成

CLMV諸国の急速な都市化は様々な問題や実情が浮き彫りとなっています。この課題を解決するために、明治大学の「世界展開力強化事業」は、日本の学生と発展途上にあるCLMV諸国の学生とが協働することで、国連が提示した「持続可能な開発目標」に沿って、各国・地域の都市化に適したインフラ形成とこれを運営する社会インフラの意義を理解し、その発展に寄与できる人材を養成していきます。
※CLMV=カンボジア(Cambodia)・ラオス(Laos)・ミャンマー(Myanmar)・ベトナム(Vietnam)



明治大学アセアンセンター(タイ)

戦争や飢えのない世界を作り出す

明治大学は、「社会連携ポリシー」の中に「環境保全・平和利用」を掲げ、軍事利用・人権抑圧等、平和に反する内容を目的とする研究・社会連携活動を一切禁止しています。明治大学が目指すのは、高度で先進的な研究成果をもとに、学外研究機関との交流をはじめ、民間企業、国、自治体やその地域社会等と連携して、平和で豊かな社会を創造することです。



Web出願受付中!

明治大学 検索

パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。

明治大学の一般入学試験(全学部統一一般選抜・大学入試センター試験利用入学試験)はWeb出願です。
※詳細は、一般入学試験要項(明治大学ホームページで公開中)を必ずご確認ください。

就職に力を入れている 大学ランキング

「就職の明治」として、創立136年の歴史と伝統から受け継がれている就職キャリア支援は、高い実績と評価をいただいております。学生の未来を切り開く、魅力ある大学を目指しています。



【充実した奨学金】～明大生の約3分の1が利用～
給費型(返還不要)の奨学金が多くあり、全国でもトップクラスの給付額。地方出身者のみ申請可能な「つなげ!紫紺の“たすき”」奨学金など、充実した制度で学生をバックアップしています。

【全国どこでも個別面談】父母と大学を結ぶ父母会体制
教職員が直接現地で成績や就職状況等を面談し、大学生活の「見える化」に努めています。



「個」を強くする大学
明治大学

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL 03-3296-4545(代)

<https://www.meiji.ac.jp>